

## 神のプリンス：ダビデの生涯 ⑤

### イントロダクション | 「愛の復讐」

ダビデは自分の命をねらうサウルに復讐する千載一遇のチャンスを得ましたが、むしろ彼に赦しを与えました。この聖書から、第1に、人生の苦難に出会うときにも、すべてのことを支配している主なる神に思いと心を向けることを学びましょう。第2に、彼がいわゆる復讐ではなく、愛によって答えたことにフォーカスしたいと思います。そして第3に、ダビデは何度も繰り返して「主に油注がれた者」と呼んでいることから、油注がれた方、すなわちキリスト（メシヤ）に心を向けましょう。

### 聖書 | I サムエル記 24 章 1-22 節

24:1 サウルがペリシテ人討伐から帰って来たとき、ダビデが今、エン・ゲディの荒野にいるということが知らされた。2 そこでサウルは、イスラエル全体から三千人の精鋭をえり抜いて、エエリムの岩の東に、ダビデとその部下を捜しに出かけた。3 彼が、道ばたの羊の群れの囲い場に来たとき、そこにほら穴があったので、サウルは用をたすためにその中に入った。そのとき、ダビデとその部下は、そのほら穴の奥のほうにすわっていた。4 ダビデの部下はダビデに言った。「今こそ、主があなたに、『見よ。わたしはあなたの敵をあなたの手へ渡す。彼をあなたのよいと思うようにせよ』と言われた、その時です。」そこでダビデは立ち上がり、サウルの上着のすそを、こっそり切り取った。5 こうして後、ダビデは、サウルの上着のすそを切り取ったことについて心を痛めた。6 彼は部下に言った。「私が、主に逆らって、主に油そそがれた方、私の主君に対して、そのようなことをして、手を下すなど、主の前に絶対にできないことだ。彼は主に油そそがれた方だから。」7 ダビデはこう言って部下を説き伏せ、彼らがサウルに襲いかかるのを許さなかった。サウルは、ほら穴から出て道を歩いて行った。8 その後、ダビデもほら穴から出て行き、サウルのうしろから呼びかけ、「王よ」と言った。サウルがうしろを振り向くと、ダビデは地にひれ伏して、礼をした。9 そしてダビデはサウルに言った。「あなたはなぜ、『ダビデがあなたに害を加えようとしている』と言う人のうわさを信じられるのですか。10 実はきょう、いましがた、主があほら穴で私の手にあなたをお渡しになったのを、あなたはご覧になったのです。ある者はあなたを殺そうと言ったのですが、私は、あなたを思って、『私の主君に手を下すまい。あの方は主に油そそがれた方だから』と申しました。11 わが父よ。どうか、私の手にあるあなたの上着のすそをよくご覧ください。私はあなたの上着のすそを切り取りましたが、あなたを殺しはしませんでした。それによって私に悪いこともそむきの罪もないことを、確かに認めてください。私はあなたに罪を犯さなかったのに、あなたは私のいのちを取ろうとつけねらっておられます。12 どうか、主が、私とあなたの間をさばき、主が私の仇を、あなたに報いられますように。私はあなたを手にかけることはしません。13 昔のことわざにも、『悪は悪者から出る』と言っているのだから、私はあなたを手にかけることはしません。14 イスラエルの王はだれを追って出て来られたのですか。あなたはだれを追いかけておられるのですか。それは死んだ犬のあとを追って、一匹の蚤を追っておられるのにすぎません。15 どうか主が、さばき人となり、私とあなたの間をさばき、私の訴えを取り上げて、これを弁護し、正しいさばきであなたの手から私を救ってくださいますように。」16 ダビデがこのようにサウルに語り終えたとき、サウルは、「これはあなたの声なのか。わが子ダビデよ」と言った。サウルは声をあげて泣いた。17 そしてダビデに言った。「あなたは私より正しい。あなたは私に良くしてくれたのに、私はあなたに悪いうちをした。18 あなたが私に良いことをしていたことを、きょう、あなたは知らせてくれた。主が私をあなたの手へ渡されたのに、私を殺さなかったからだ。19 人が自分の敵を見つけたとき、無事にその敵を去らせるであろうか。あなたがきょう、私にしてくれた事の報いとして、主があなたに幸いを与えられるように。20 あなたが必ず王になり、あなたの手によってイスラエル王国が確立することを、私は今、確かに知った。21 さあ、主に掛けて私に誓ってくれ。私のあとの私の子孫を断たず、私の名を私の父の家から根絶やしにしないことを。」22 ダビデはこれをサウルに誓った。サウルは自分の家へ帰り、ダビデとその部下は要害へ上って行った。

### 考えましょう |

- 1: (1-7 節) ダビデはサウルに対してどうしましたか？ダビデの対応で、あなたが驚かされるのはどんな点ですか？それはなぜですか？（参考 1サムエル 26:10-11）
- 2: ダビデがサウルに対して復讐するのではなく、むしろ赦しを与えたのはなぜだと思いますか？ダビデはそれによって、自分の人生や人格にどんな益を受けたと思いますか？（参考 ローマ 5:3-5）

- 3: (10-12) ダビデはサウルの上着のすそを切り取ることによって、何を明らかにしましたか？ 苦しみや苦難を与え、不当なことをする人に対して、私たちはどうすべきなのでしょう？
- 4: ダビデは愛をもってサウルを赦したときに、真理や正義を無視しましたか？ これによれば、復讐や仕返しをする機会が訪れたときに、あなたはどのような態度を取ることができますか？ (参考 ローマ 12:19-21)
- 5: ダビデはしきりに主なる神が支配していることを思い起こし、何度も「主に油注がれた者」に言及しています。「油注がれた者」とは、神によって特別な役割に任命されたメシヤ、すなわちキリストを指しています。怒りや憎しみを抱いて、復讐や仕返しをしてしまう傾向があるとき、キリストの福音はあなたの心と態度にどんな影響を及ぼしますか？

## 読みましょう |

---

### 1 サムエル記 26:10-11 節

26:10 ダビデは言った。「主は生きておられる。主は、必ず彼を打たれる。彼はその生涯の終わりに死ぬか、戦いに下ったときに滅ぼされるかだ。 11 私が、主に油そそがれた方に手を下すなど、主の前に絶対にできないことだ。さあ、今は、あの枕もとにある槍と水差しとを取って行くことにしよう。」

### ローマ書 5章 3-5 節。

5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、 4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。 5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

### ローマ書 12章 19-21 節

12:19 愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」 20 もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。渴いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。 21 悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

## 祈りましょう |

---

- ・イエスが愛と真理をもって、私たちの罪を赦してくださったことを感謝して、復讐や仕返しをするのではなく、愛をもって真理を語り、赦しと愛をあらわせるように祈りましょう。
- ・赦せない敵やライバルがいれば、それはどうしてなのか、何が自分の心を支配しているのかを思いめぐらし、キリストの赦しの福音のゆえに悔い改めて、その人を赦すことができるように祈りましょう。

## 今週～来週のイベント

---

グレースシティゴスペル (17)

ランチタイムミーティング (18 赤坂、19 丸の内、20 大手町)

老人ホームボランティア (22)

礼拝 Worship & Fellowship (23 「ダビデ王のダンス」)

礼拝 Worship & Fellowship (30 「永遠の王国」)